

地域福祉推進スタッフ（地域福祉コーディネーター担当）の主なお仕事

1 住民相談窓口の支援

地域住民による「ご近所ボランティアコーディネーター」が、コミュニティセンターや集会所などの地域住民にとって身近な場所である「住民相談窓口」で、地域住民からの相談を受け付けます。

住民相談窓口に訪問したり、ご近所ボランティアコーディネーターと打ち合わせを行ったりして、住民相談窓口の支援を行います。



【職員の声】いろんな地域の方々に出会えて楽しい！とても勉強になります。

2 地域のちょっとした困りごとへの支援

地域住民の抱えるちょっとした困りごとを解決する、地域住民のボランティアである「ご近所ボランティア」の活動の支援を行います。また困りごとを解決するために、必要に応じて関係機関との連絡・調整を行います。

活動した「ご近所ボランティア」に付与される「ボランティアポイント」に関する事務も行います。

また地域の中の困りごとを発掘するために、サロン等の地域住民の集まる場に訪問し、ニーズ調査を行います。



【職員の声】困りごとが解決された地域の方の姿を見ると、とてもやりがいを感じます！

3 地域の皆さんや関係機関との情報交換や話し合い

地域の皆さんや関係機関といっしょに、地域の課題や情報を共有したり、地域での困りごとや支えあい活動について話し合ったりしています。



4 ボランティアの育成・発掘

ボランティア養成講座の開催などを通じて、地域の困りごとに対する担い手の養成を行っています。

また活動している「ご近所ボランティア」の研修を行っています。

【職員の声】地域の方に限らず、専門機関や団体の方とも交流ができ、ネットワークが広がっています。

5 その他、社会福祉協議会が行う事業

【職員の声】地域に出かけて、地域の人と直接話しながら動くので、地域の人と一緒に地域を良くしているという実感があります。